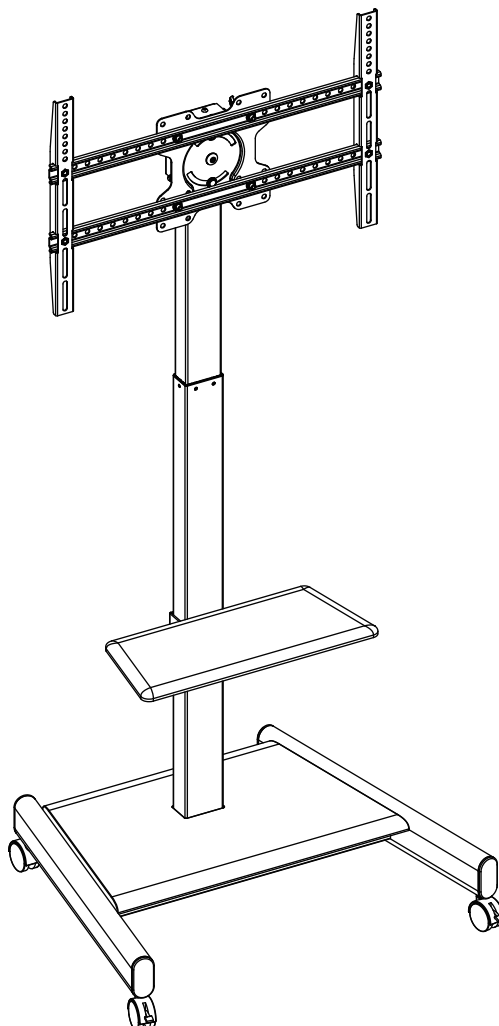


20241010

電動昇降機能付きテレビスタンド  
使用・取付け説明書

型番  
『ERT-23RD』



この度は本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
設置の前に本説明書をよくお読みのうえ正しく設置・使用してください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



禁止の行為である事を告げるものです。



行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

## 警告



本説明書を無視した組み立て設置や誤った組み立て設置、取付け不良、取付け強度不足、本来の目的外の利用及び、天災などによる事故や破損については、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



テレビスタンド自体の不備や不具合にはご対応できますが、お客様の床構造・強度については当店では責任が持てない事をご了承ください。お客様ご自身で強度をご確認の上、自己責任にて設置をお願いします。



お客様による設置作業については弊社では一切保証できず、自己責任となります。



お客様ご自身で設置作業を行う際は十分注意し、自己責任で取付けを行ってください。少しでも不安のある場合は無理に取付けを行わず専門業者へ依頼してください。



必要な部品は本説明書通りの手順で全て確実に取付けてください。不備がある場合、転倒や落下により家屋の破損が発生する恐れがあります。



本製品に乗る、脚をかける、ぶら下がる、棚の上に乗る等の行為をすると転倒し怪我の原因となることがあります。



商品ごとに定められている許容重量以下のテレビのみをご使用ください。耐荷重以上の物を取付けると転倒し機器の破損、怪我をする恐れがあります。



次の場所には、設置をしないでください。

- やわらかい床面、傾いた床面など不安定な場所
- 屋外や海岸、温泉に近い場所、温度・湿度の高い場所
- 動力用電源配線、空調機器、防磁型ではないスピーカーに近い場所
- 人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- ぐらつく、傾くなど不安定な場所
- 振動や衝撃が頻繁にあるような場所
- テレビの通気が悪い場所、通風を妨げるような場所
- 開閉するドアの近くなど、日常生活の行動に支障をきたす場所
- 常時人がいる場所の真上など万が一落下した場合に危険性が高まる場所
- その他設置する事で危険性が増す場所など

## 注意



取付けを行う前に、テレビが今回お買い上げのスタンドに取付けできるかを今一度確認してください。スタンドの組立を行った後に、テレビの取付けが出来ないと発覚しても弊社では一切の責任を負いかねます。何卒慎重にご確認ください。



テレビスタンドの種類やテレビの大きさによっては、重量がある場合がございます。基本的には2人以上で組立・設置作業を行ってください。



設置作業を行うにあたって、安全性を十分に考慮し、設置中の怪我や部屋及び家財に損傷を与える事のないようご注意ください。また、作業時は十分なスペースを確保してください。



設置場所が決定したら、キャスターのストッパーをかけ、しっかりと固定しスタンドが自走しないようにしてください。不意に動き出すと怪我の原因となることがあります。



移動する際に段差がある場合はテレビを本製品から降ろして移動させてください。

## 取付け設置時に必要な道具・工具は揃っていますか？

- プラスドライバー
- 滑り止め付きの軍手（怪我防止、落下防止に便利です）

## 取付けを始める前にもう一度チェック！

- ✓ 付属部品は揃っているか、取付けに足りない部品は無いかな。
- ✓ スタンドに不備はないかどうか、破損などの不良部品・不良箇所は無いかどうか。
- ✓ テレビの適合をもう一度確認してください。  
テレビ側ブラケットを実際にテレビ背面のネジ穴に合わせてみましょう。

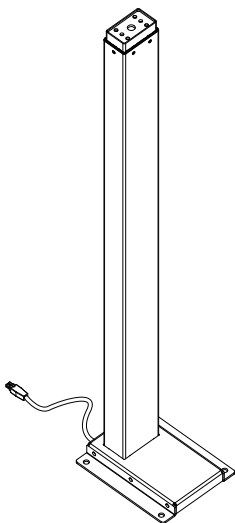
## 付属ネジに関して

- テレビ側のネジは、多くのテレビを取付け可能にする為に数種類の径の太さで一般的な長さのものを付属しています。ただし、どうしてもそれらのネジで合わないテレビもある事から、そのような場合はお客様にてホームセンターなどで適切なネジをご用意ください。

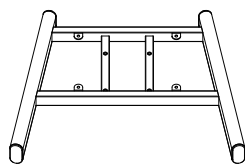
## 付属の部品一覧

※金具・部品の仕様や形状は実際とは多少異なる場合がございます。

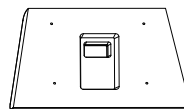
### テレビスタンド本体



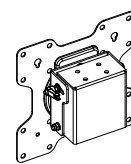
A. 支柱…1 個



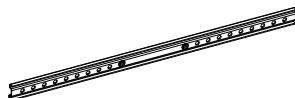
B. 土台…1 個



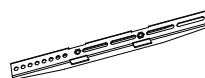
C. 土台カバー…1 個



D. テレビ側プレート…1 個

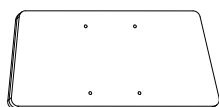


E. 横ブラケット…2 個

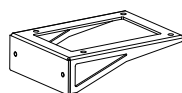


F. 縦ブラケット…2 個

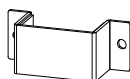
## テレビスタンド付属部品



G.棚板…1個



H.棚受け…1個



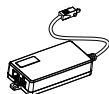
I.棚板固定金具…1個



J.ストッパー付き  
キャスター…2個



K.キャスター  
…2個



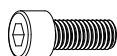
L.スタンド側  
接続端子…1個



M.電源側  
接続端子…1個



N.電源コード…1個



O.支柱固定用  
ボルト…4本



P.土台カバー / 棚板  
固定用ボルト…10本



Q.テレビ側プレート  
固定用ボルト…4本



R.ブラケット  
固定用ボルト…4本



S.テレビ固定用  
ボルト…4本

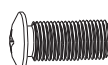
## テレビを取付ける際に使用する部品



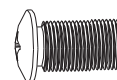
M-A. M4x14 ボルト  
…4本



M-B. M5x14 ボルト  
…4本



M-C. M6x14 ボルト  
…4本



M-D. M8x16 ボルト  
…4本



M-E. M4x30 ボルト  
…4本



M-F. M5x30 ボルト  
…4本



M-G. M6x30 ボルト  
…4本



M-H. M8x35 ボルト  
…4本



M-I. M4 / M5  
ワッシャー…4個



M-J. M6 / M8  
ワッシャー…4個



M-K スペーサー小  
(10mm)…4個



M-L. スペーサー大  
(20mm)…4個

※多くのテレビに合う一般的な長さのネジが付属しています。万が一付属のネジで合わない場合は、別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

## 工具



T. 4mm 六角レンチ…1個



U. 6mm 六角レンチ…1個

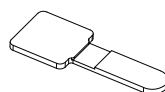


V. 10mm スパナ…1個

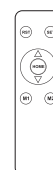


W. 14mm スパナ…1個

## その他



X.コード固定用テープ…10個



Y. リモコン…1個(※)

※リモコン用電池は付属しておりません。  
単4形電池2本をご用意ください。

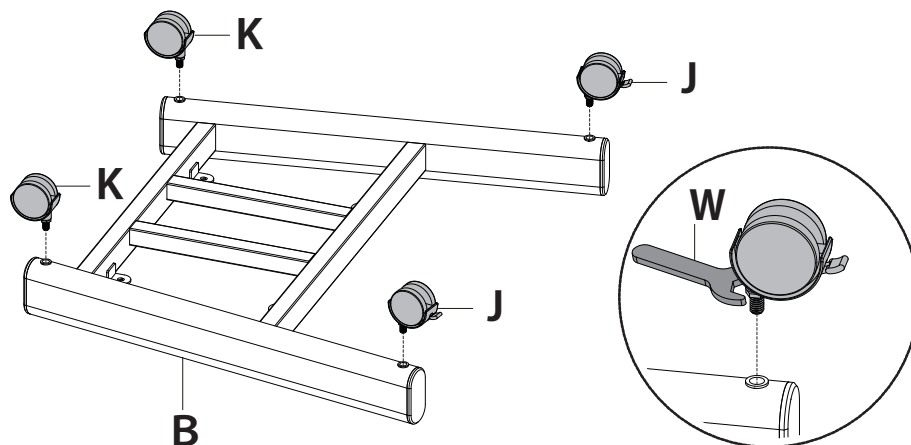
## Step 1. モニターブラケットを取付ける前に

- 【1. 取付けを行う前に、テレビが今回お買い上げのテレビスタンドに取付けできるかを今一度確認してください。】
- 【2. テレビの据え置きスタンドや電源ケーブル等の配線を全て外してください】

## Step 2. テレビスタンド本体の組立て

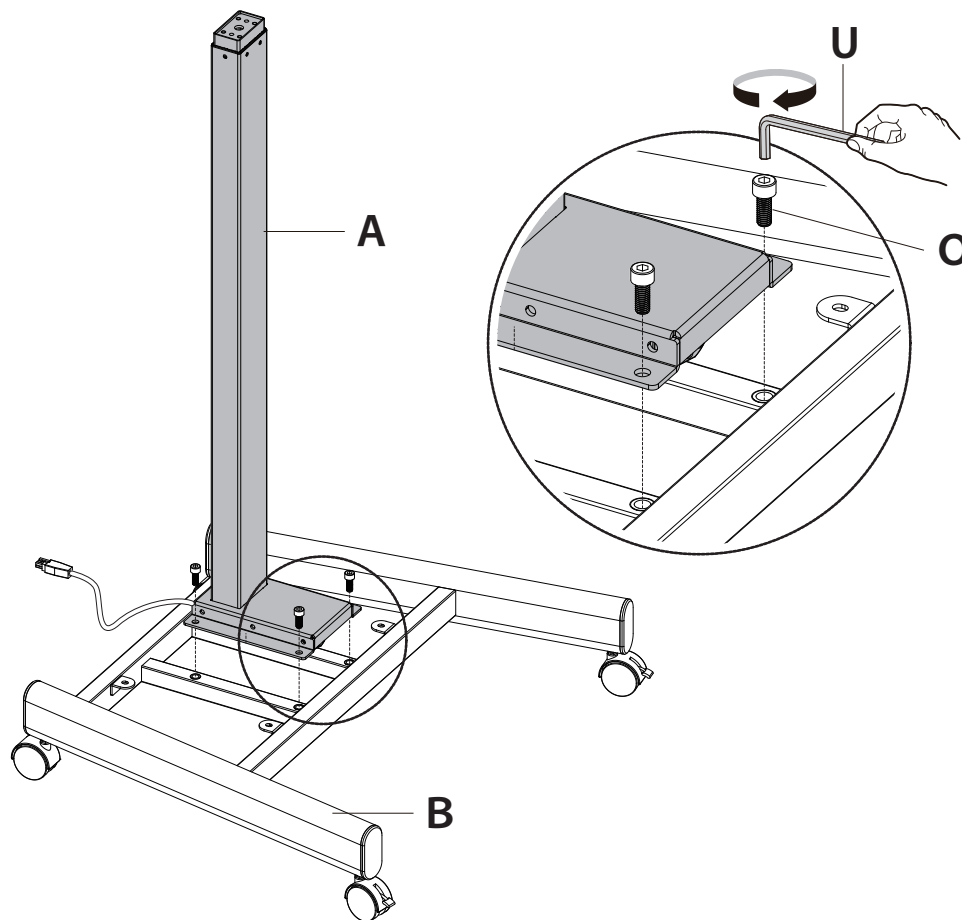
### 【1. キャスターを取付ける】

- 下図を参考に、▼14mm スパナ (W) を使用して▼土台 (B) の裏側に▼キャスター (J/K) を取付けます。
- テレビスタンド前方に▼ストッパー付きキャスター (J)、後方に▼キャスター (K) を取付けます。



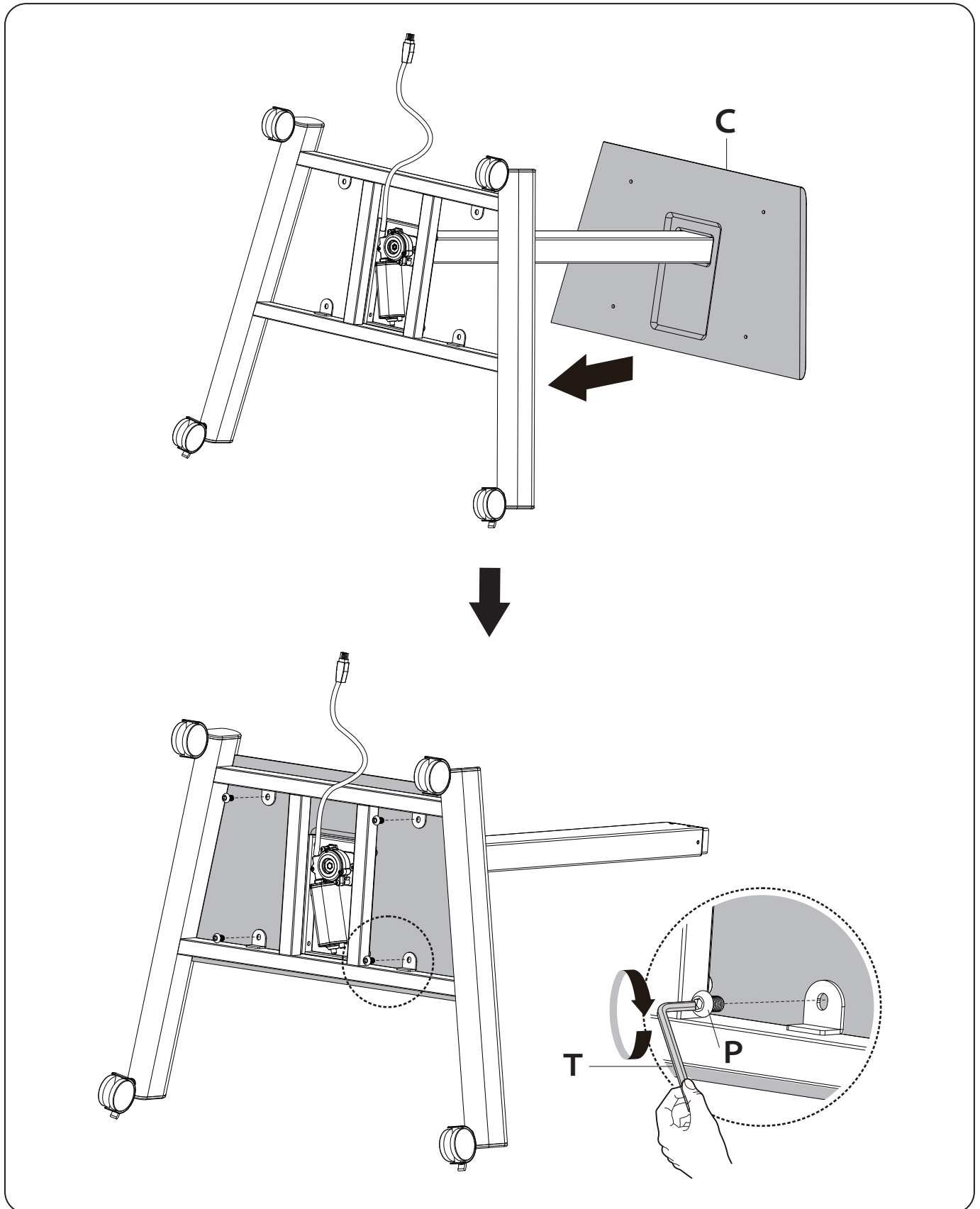
### 【2. 支柱を取付ける】

- 下図を参考に、▼支柱固定用ボルト (O) と▼6mm 六角レンチ (U) を使用して、▼土台 (B) に▼支柱 (A) を取付けます。



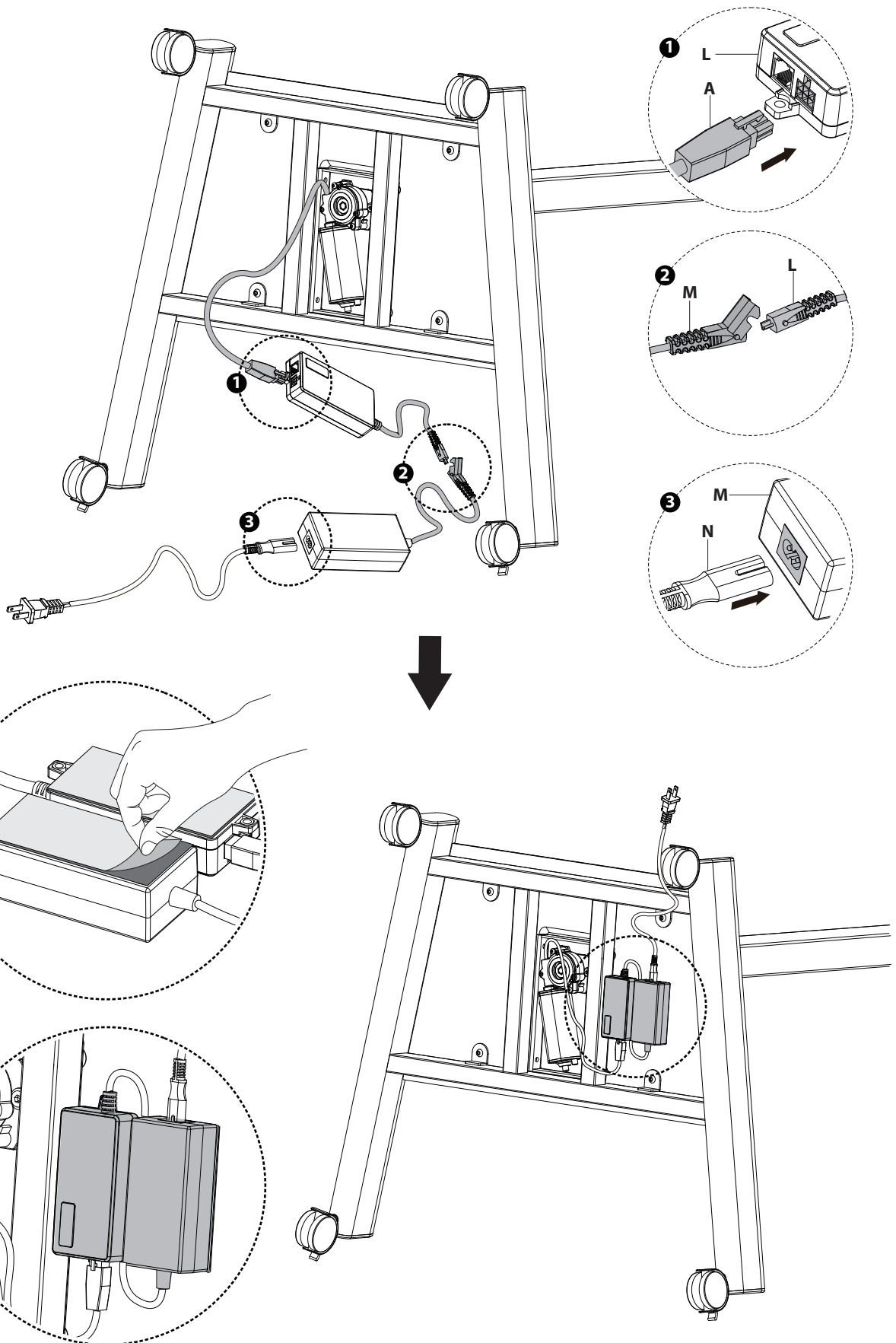
### 【3. 土台カバーを取付ける】

- 下図を参考に、組立てたテレビスタンド本体を横に倒し、▼土台カバー(C)の穴を▼支柱(A)に通します。
- 裏側から▼土台カバー / 棚板固定用ボルト(P)、▼4mm 六角レンチ(T)を使用して取付けます。



#### 【4. 電源端子を取付ける】

- 下図を参考に、組立てたテレビスタンド本体を横に倒し▼スタンド側接続端子 (L)、▼電源側接続端子 (M)、▼電源コード (N) を取付けます。
- 両面テープが貼ってあるので、▼土台カバー (C) の裏側に貼り付けて使用してください。



## Step 3-①. モニターブラケットの取付け

VESAネジ穴間隔が100×100/100×200/200×100/200×200(mm)のテレビの取付け  
(上記以外のテレビは本工程を飛ばして【Step 3 -②】へ進んでください)

### 【1. テレビ背面のネジ穴にテレビ側プレートを取付ける】

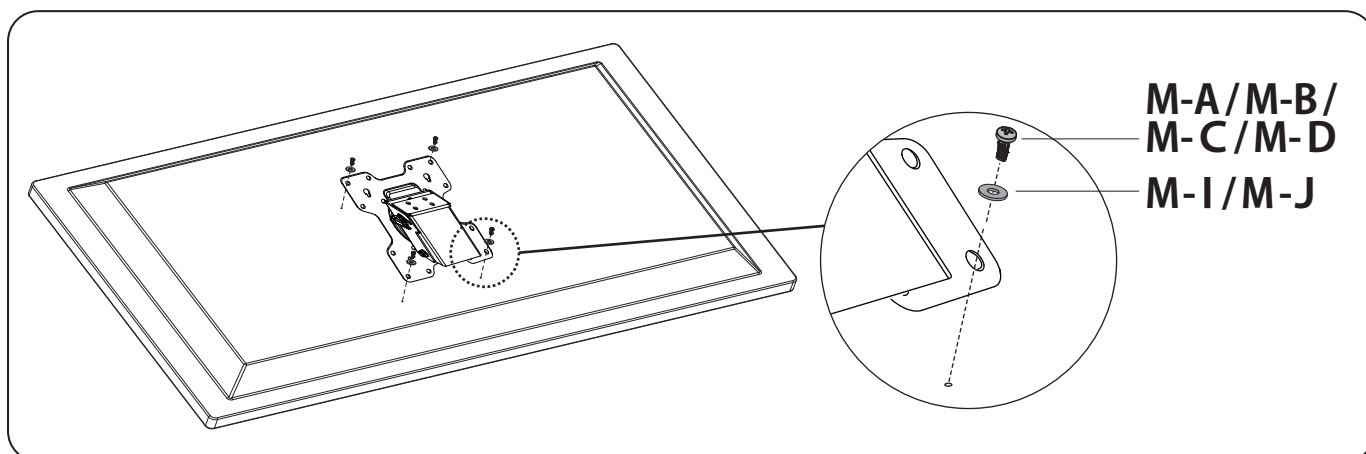
- テレビ背面に開いている金具取付けネジ穴に合わせて▼テレビ側プレート (D) を取付けます。
- 背面がフラットで干渉する様な箇所がない場合と、テレビ背面に段差がある場合や配線が干渉する場合で手順が異なりますのでご注意ください。

### テレビの背面がフラットで干渉する様な箇所がない場合

- 下図を参考に、テレビ背面に開いている金具取付けネジ穴に▼テレビ側プレート (D) を▼ワッシャー (M-I/M-J)、▼ボルト (M-A/M-B/M-C/M-D) を使って取付けます。[→【2.】へ進む]

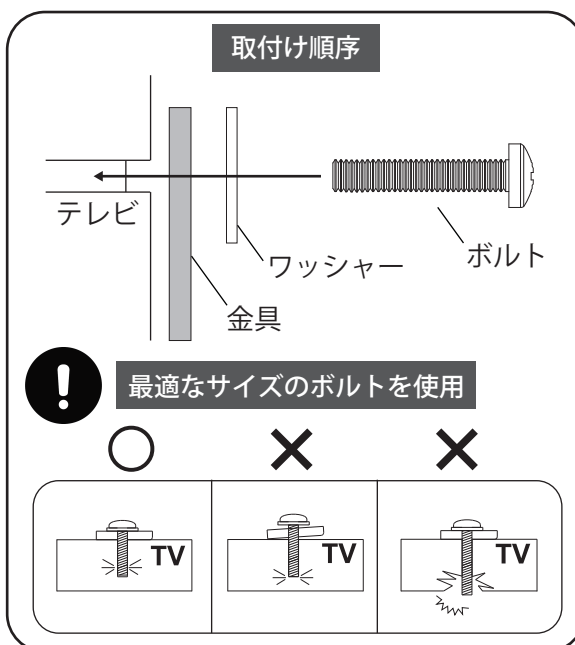
#### ポイント

- ・ワッシャー、ボルトはテレビ背面に開いているネジ穴の大きさに合ったものを選んで取付けてください。付属ネジの全ては使用しません。



### ⚠ 注意

- ⊘ 付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。無理に取付けを行うと、テレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。



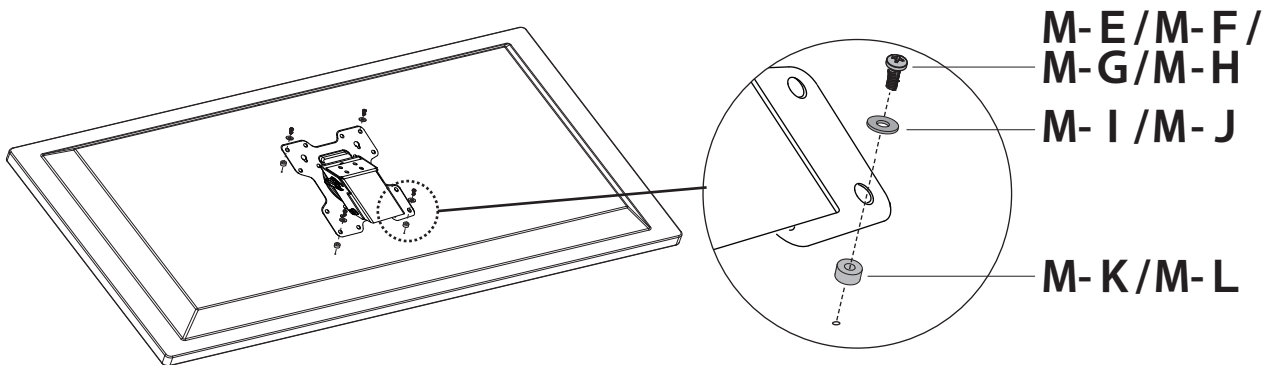


## テレビの背面に段差がある場合や配線が干渉する場合

- テレビに段差がある場合やテレビ側ブラケット取付け時に配線等に干渉する場合は、スペーサーを使用して取付けます。下図を参考に、テレビ背面に開いている金具取付けネジ穴に▼テレビ側プレート (D) を▼スペーサー (M-K/M-L)、▼ワッシャー (M-I/M-J)、▼ボルト (M-E/M-F/M-G/M-H) を使って取付けます。[→【2.】へ進む]

### ポイント

- ・ワッシャー、ボルトはテレビ背面に開いているネジ穴の大きさに合ったものを選んで取付けてください。**付属のネジ類の全ては使用しません。**
- ・スペーサーは段差の高さに合ったものを選んで取付けてください。



### 注意



付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は、別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。

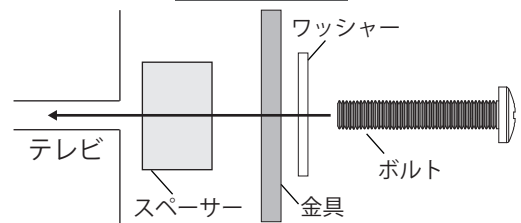


スペーサーを使用しても干渉してしまう場合は、無理に取付けを行わないでください。

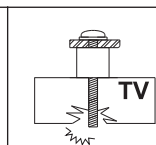
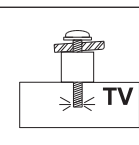
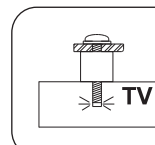


無理に取付けを行うとテレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

### 取付け順序



最適なサイズのボルトを使用



## 【2. テレビ側プレートをスタンドに取付ける】



注意

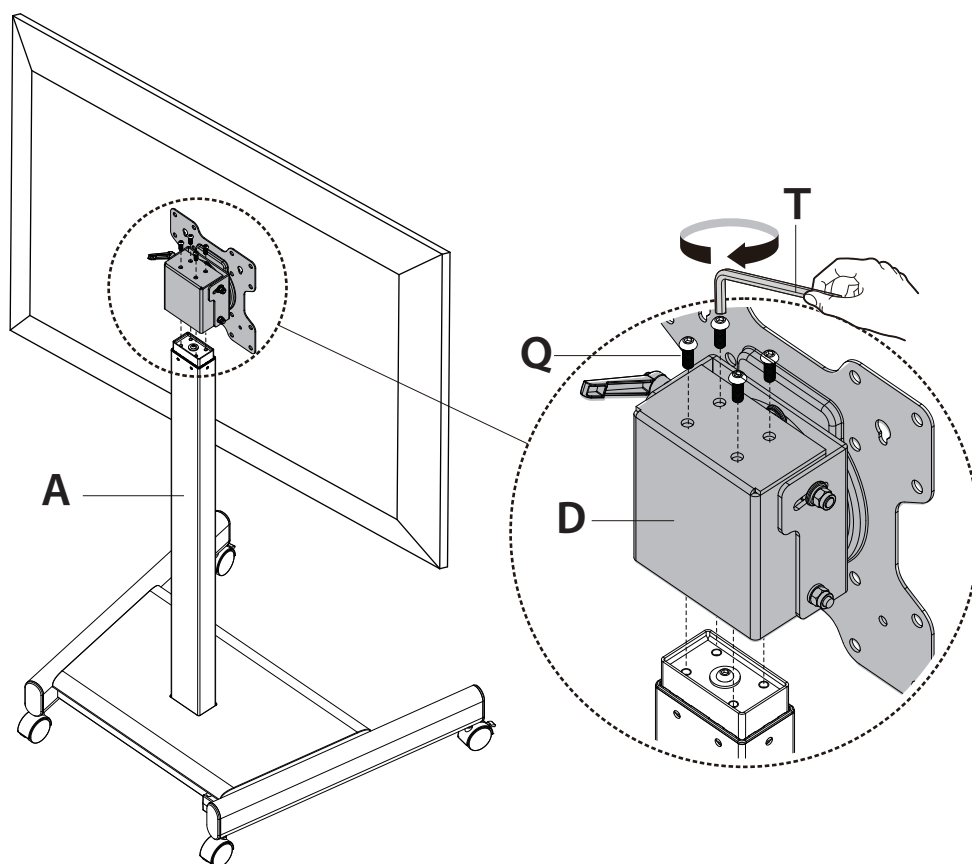


この項目での作業は、テレビの大きさや重量によっては大変困難な作業となる場合がございますので、無理に1人で作業を行わずに2人以上での取付け作業を行ってください。



無理な作業による作業者の負傷や、テレビや金具などの破損・損傷などについては弊社では一切の責任を負えませんので、安全に作業を行うようにしてください。

- 下図を参考に、▼テレビ側プレート固定用ボルト (Q)、▼4mm 六角レンチ (T) を使用して▼支柱 (A) の上部に▼テレビ側プレート (D) を取付けます。[→Step 4 へ進む]

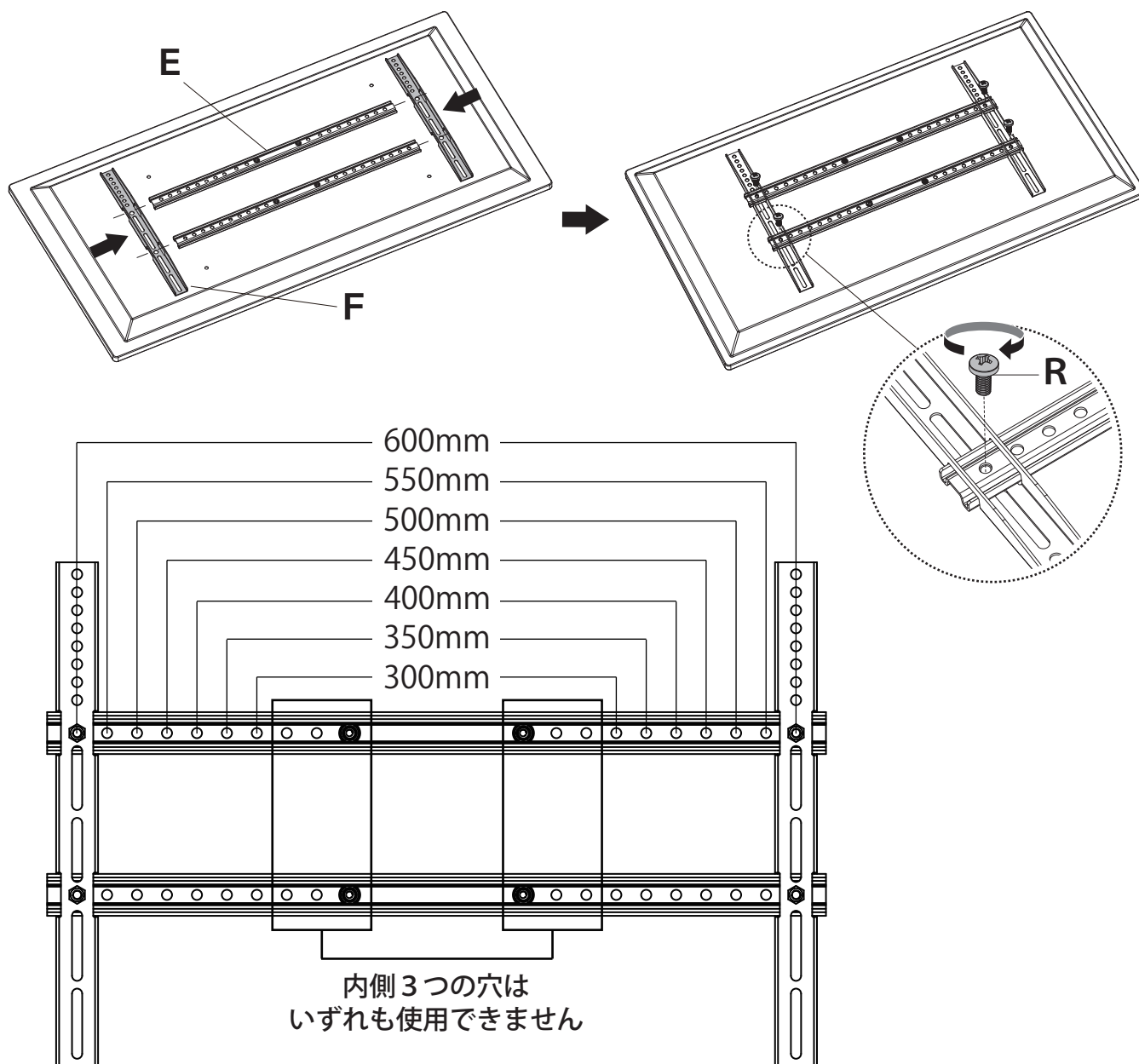


## Step 3-②. モニターブラケットの取付け

VESAネジ穴間隔が縦：200～400mm(mm) 横：300/350/400/450/500/550/600(mm)  
のテレビの場合の取付け

### 【1. 縦／横ブラケットを組み立てる】

- 下図を参考に、テレビ背面に開いている金具取付けネジ穴に合わせてブラケットを組み立てます。
- ネジ穴に合わせて▼縦ブラケット (F) を配置し、▼横ブラケット (E) を▼縦ブラケット (F) の上下の穴に差し込んで▼ブラケット固定用ボルト (R) で固定します。



### 【2. テレビ背面のネジ穴にブラケットを取付ける】

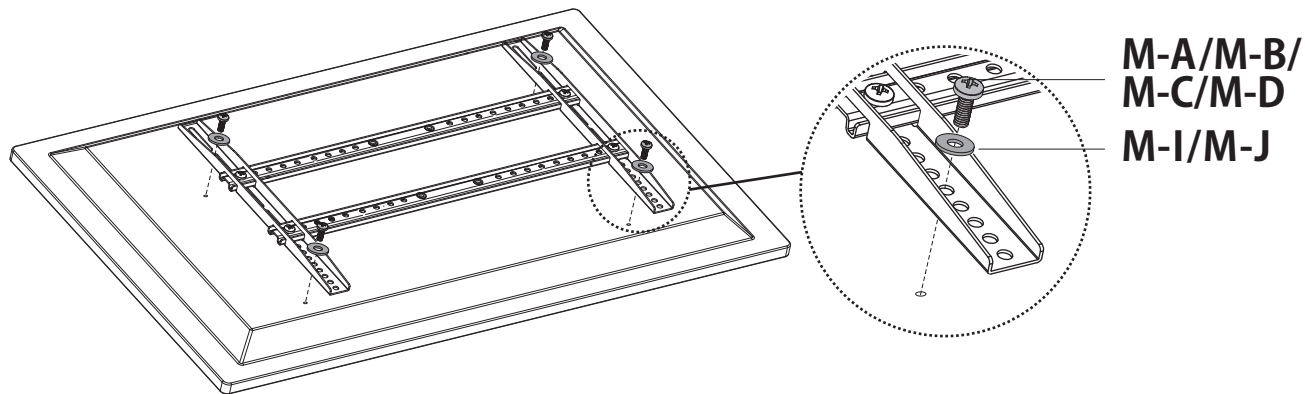
- 次のページを参考に、テレビ背面に開いている金具取付けネジ穴に合わせて【1.】で組み立てたブラケットを取付けます。
- 背面がフラットで干渉する様な箇所がない場合と、テレビ背面に段差がある場合や配線が干渉する場合で手順が異なりますのでご注意ください。

## テレビの背面がフラットで干渉する様な箇所がない場合

- 下図を参考に、テレビ背面に開いている金具取付けネジ穴に【1.】で組立てたブラケットを▼ワッシャー (M-I/M-J)、▼ボルト (M-A/M-B/M-C/M-D) を使って取付けます。

### ポイント

- ・ワッシャー、ボルトはテレビ背面に開いているネジ穴の大きさに合ったものを選んで取付けてください。付属ネジの全ては使用しません。

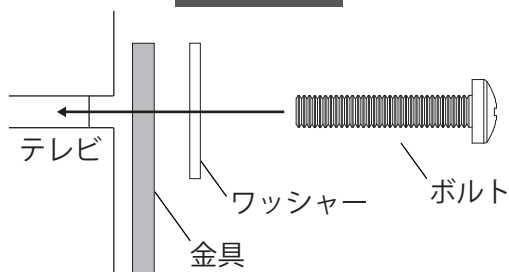


## ! 注意

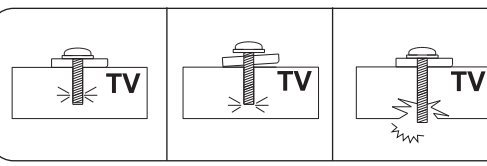


付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。無理に取付けを行うと、テレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

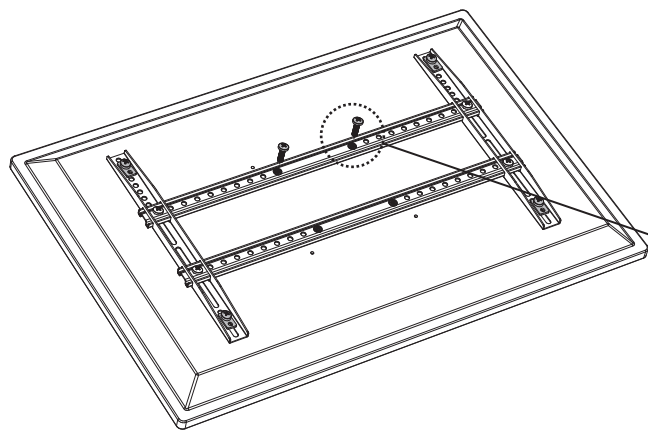
### 取付け順序



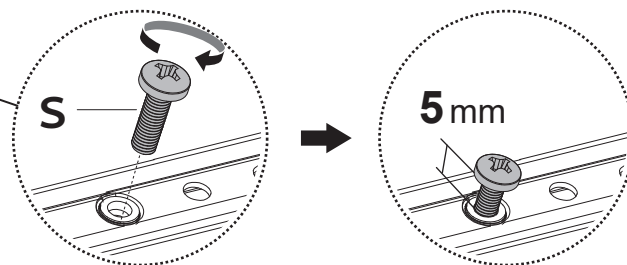
最適なサイズのボルトを使用



- 下図を参考に、上側の▼横ブラケット (E) 中央の上側 2 つの穴に▼テレビ固定用ボルト (S) を取付けます。この時ネジ頭側が 5mm 程度飛び出ている状態にします。[→【3.】へ進む]



P.13 でテレビ側プレートに引っ掛けるため、5mm 程度飛び出させます

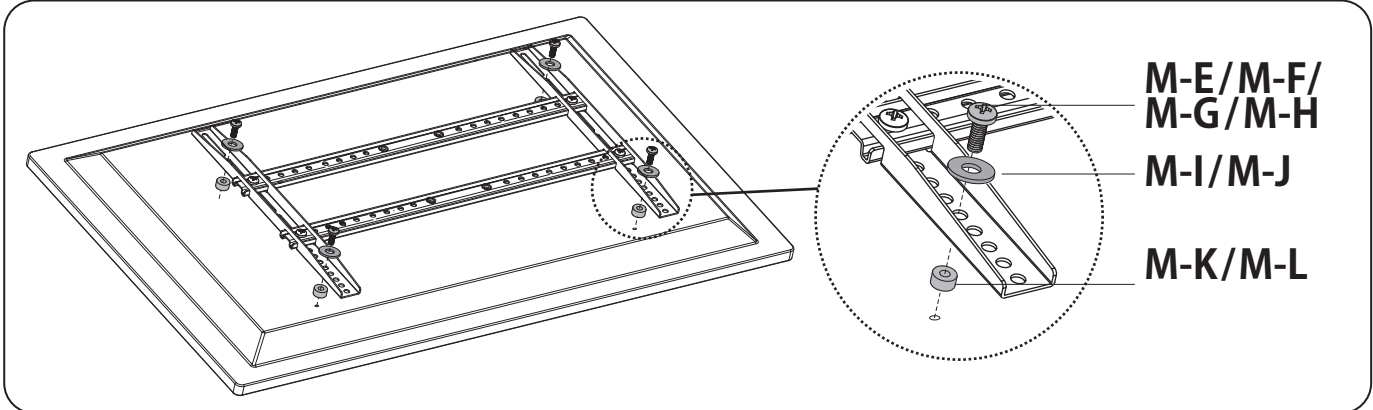


## テレビの背面に段差がある場合や配線が干渉する場合

- テレビに段差がある場合やテレビ側ブラケット取付け時に配線等に干渉する場合は、スペーサーを使用して取付けます。下図を参考に、テレビ背面に開いている金具取付けネジ穴に【1.】で組立てたブラケットを ▼スペーサー (M-K/M-L)、▼ワッシャー (M-I/M-J)、▼ボルト (M-E/M-F/M-G/M-H) を使って取付けます。

### ポイント

- ・ワッシャー、ボルトはテレビ背面に開いているネジ穴の大きさに合ったものを選んで取付けてください。**付属のネジ類の全ては使用しません。**
- ・スペーサーは段差の高さに合ったものを選んで取付けてください。



### 注意



付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は、別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。

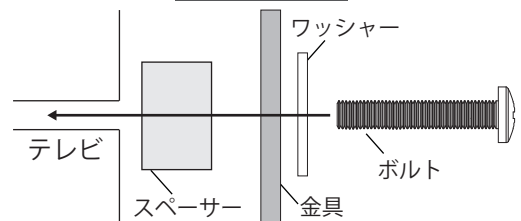


スペーサーを使用しても干渉してしまう場合は、無理に取付けを行わないでください。

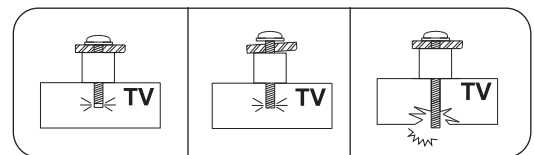


無理に取付けを行うとテレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

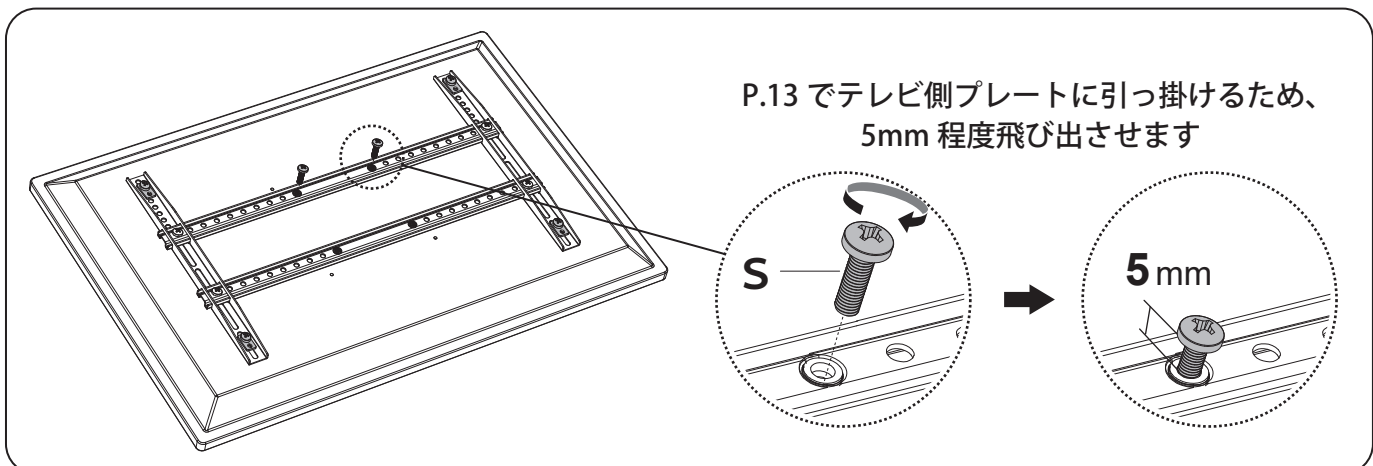
### 取付け順序



### 最適なサイズのボルトを使用



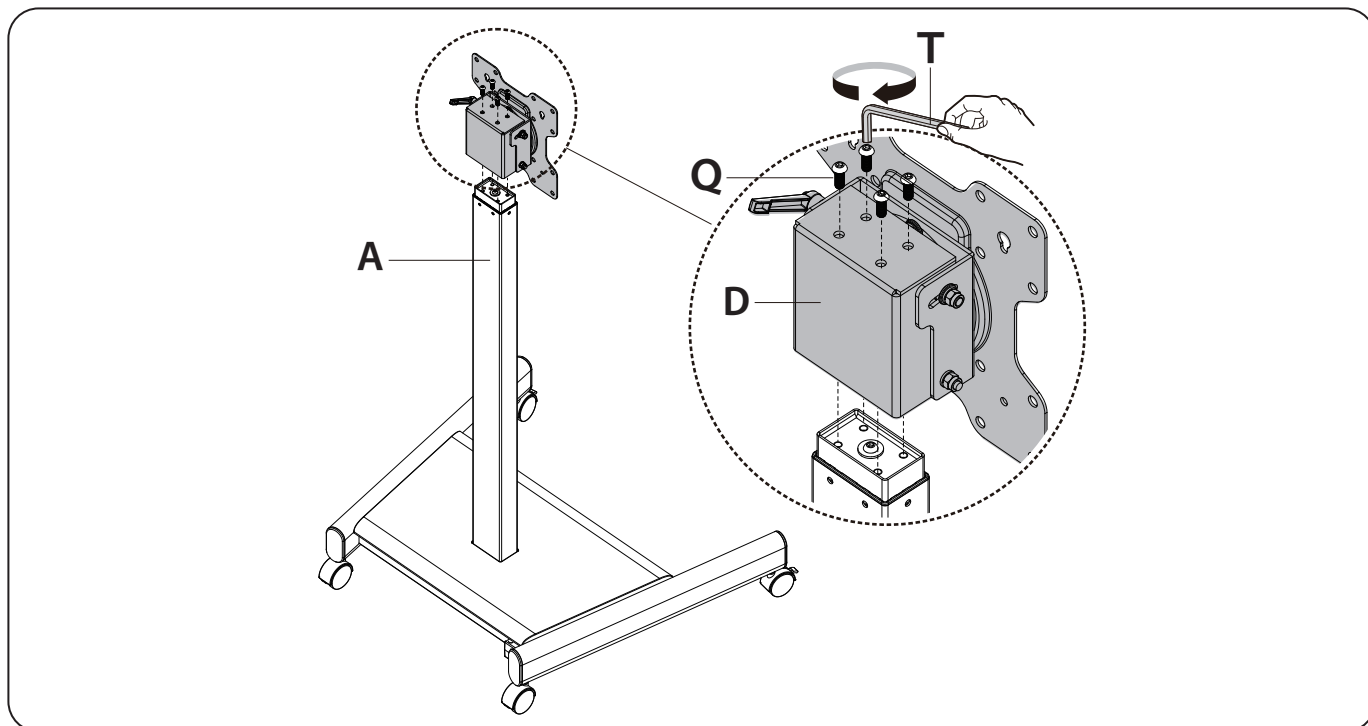
- 下図を参考に、上側の▼横ブラケット (E) 中央の2つの穴に▼テレビ固定用ボルト (S) を取付けます。この時ネジ頭側が5mm程度飛び出ている状態にします。[→【3.】へ進む]



P.13 でテレビ側プレートに引っ掛けるため、5mm程度飛び出させます

### 【3. テレビ側プレートを取付ける】

- 下図を参考に、▼テレビ側プレート固定用ボルト (Q)、▼4mm 六角レンチ (T) を使用して▼支柱 (A) の上部に▼テレビ側プレート (D) を取付けます。



### 【4. テレビ側プレートにテレビを取付ける】



**注意**

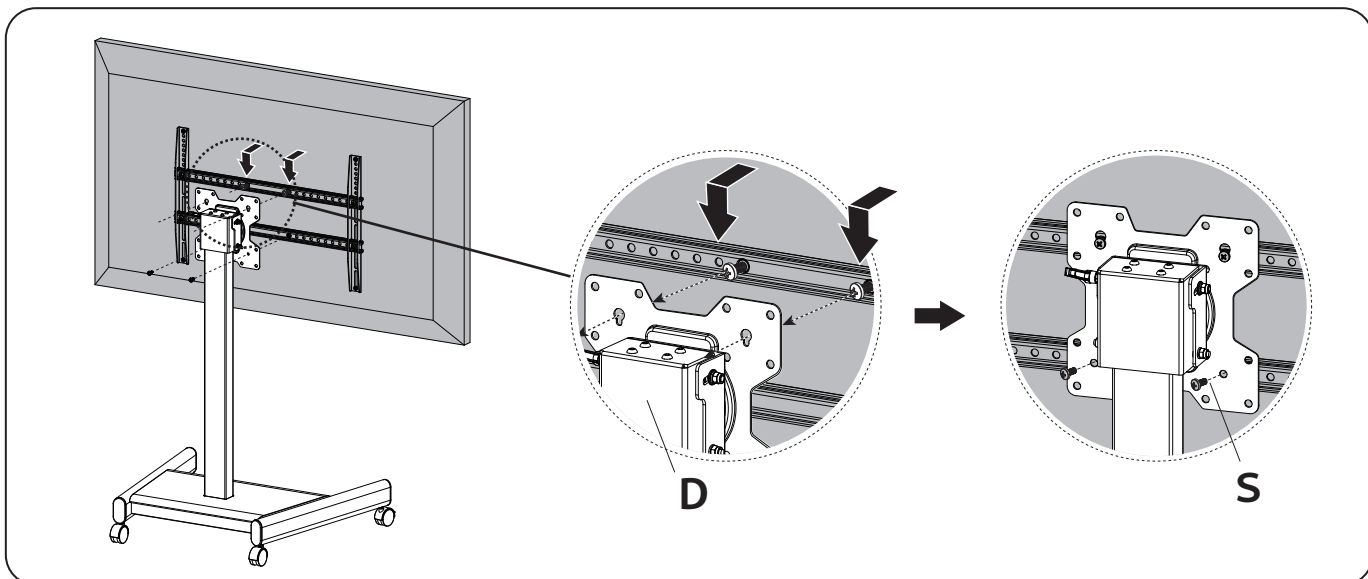


この項目での作業は、テレビの大きさや重量によっては大変困難な作業となる場合がございますので、無理に1人で作業を行わずに2人以上での取付け作業を行ってください。



無理な作業による作業者の負傷や、テレビや金具などの破損・損傷などについては弊社では一切の責任を負えませんので、安全に作業を行うようにしてください。

- 下図を参考に、【2.】で5mm 飛び出して取付けた▼テレビ固定用ボルト (S) を▼テレビ側プレート (D) 上部の穴に引っ掛け、しっかりと締めて固定します。
- ▼テレビ側プレート (D) 下部の穴にも▼テレビ固定用ボルト (S) をしっかりと締めて固定します。  
[→Step 4へ進む]

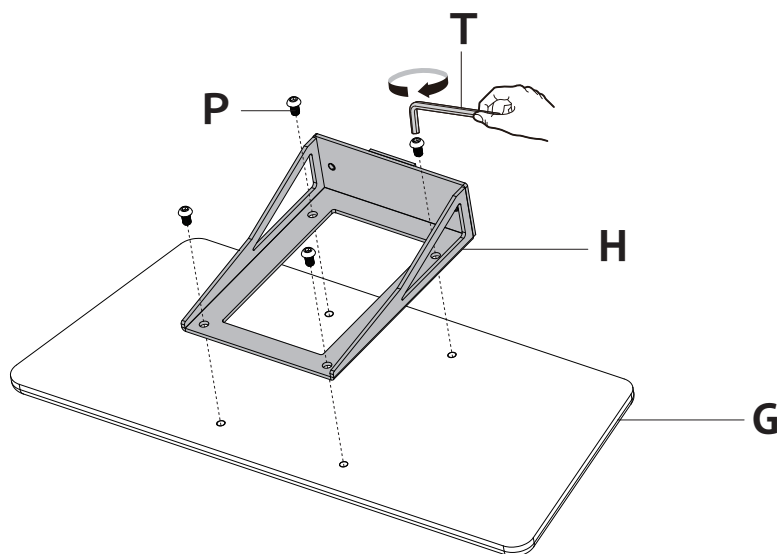


Step 4. 棚板を取付ける ※棚板を付けなくてもテレビスタンドの使用は可能です。

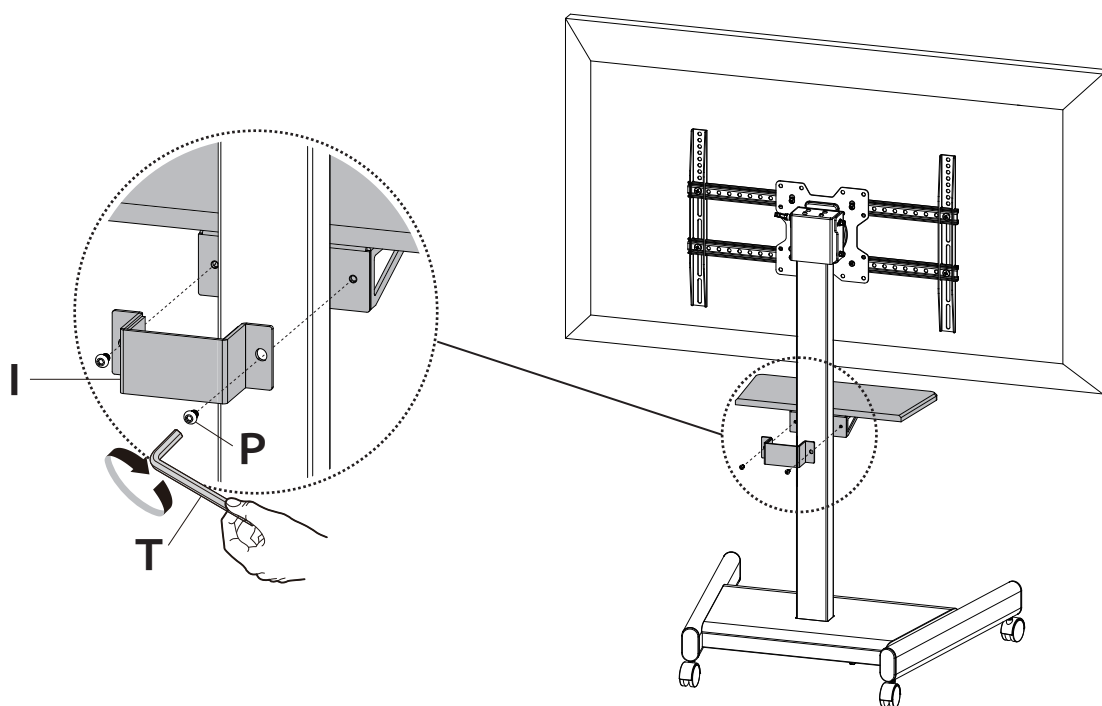


テレビを縦向きに設置する際や、テレビの大きさによっては上下位置を調節する際に、テレビが棚板に干渉する恐れがあります。必ず事前に電源コードを繋ぎ、P16のリモコン操作手順に沿ってテレビを上下に動かしてから棚板の位置を決定してください。

- 下図を参考に、▼土台カバー / 棚板固定用ボルト (P)、▼4mm 六角レンチ (T) を使用して▼棚板 (G) に▼棚受け (H) を取付けます。



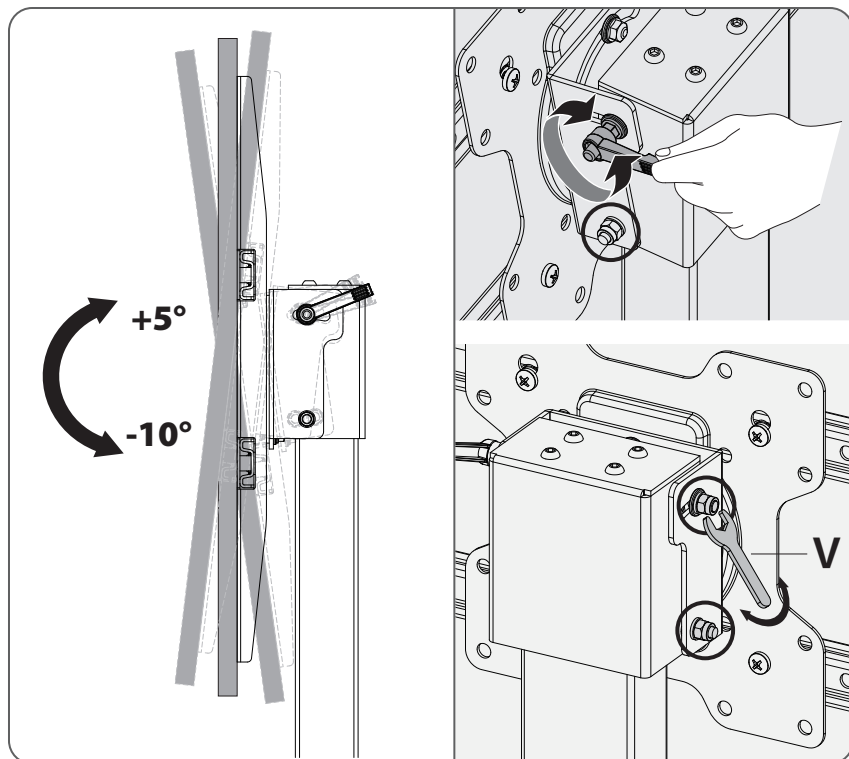
- 下図を参考に、▼土台カバー / 棚板固定用ボルト (P)、▼4mm 六角レンチ (T) を使用して▼棚板固定金具 (I) を取付け、▼棚板 (G) を固定します。



## Step 5. テレビの角度・回転を調節する

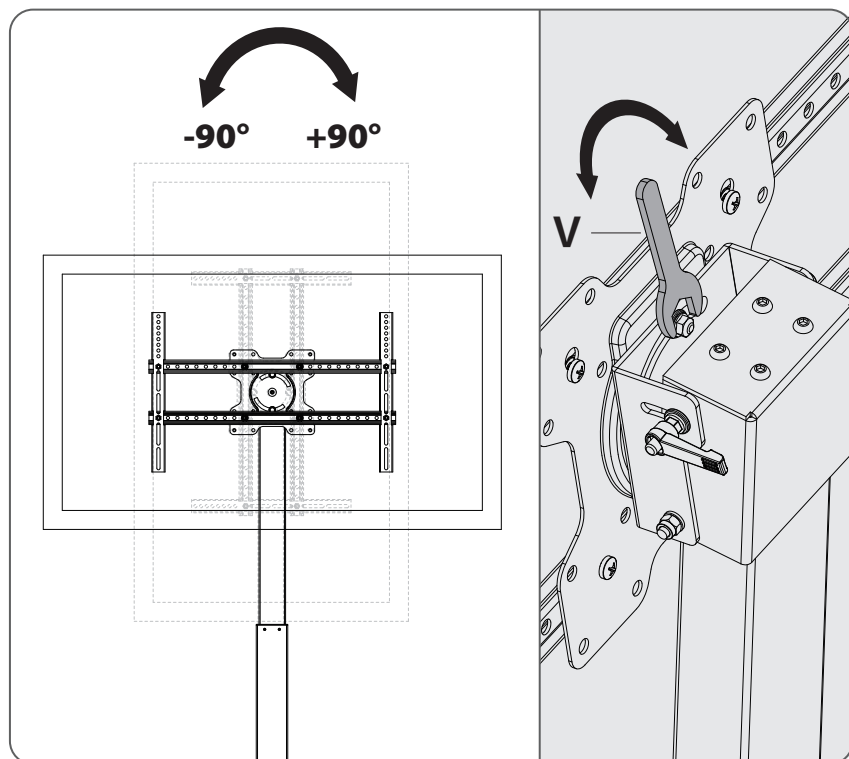
### 【1. 上下角度を調節する】

- ▼テレビ側プレート (D) 側部のレバーを左に半回転させ、下図右で丸に囲まれた3箇所を▼10mm スパナ (V) で少し緩めてからテレビを直接動かして上下角度を調節します。
- 調節後はレバーを右に半回転させて、上記3箇所を再度しっかりと締めて固定してください。



### 【2. 回転調節をする】

- テレビを直接動かすことで回転調節ができます。固くて調節できない場合は、下図を参考に▼10mm スパナ (V) で▼テレビプレート (D) のナットを少し緩めてください。



### ⚠ 注意



テレビを縦向きに設置する際、重心が中央にない(※)テレビの場合は完全に縦向きには固定できない可能性があります。

※重心が中央にないとは、VESAが中心にない、テレビ背面に段差がある等です。



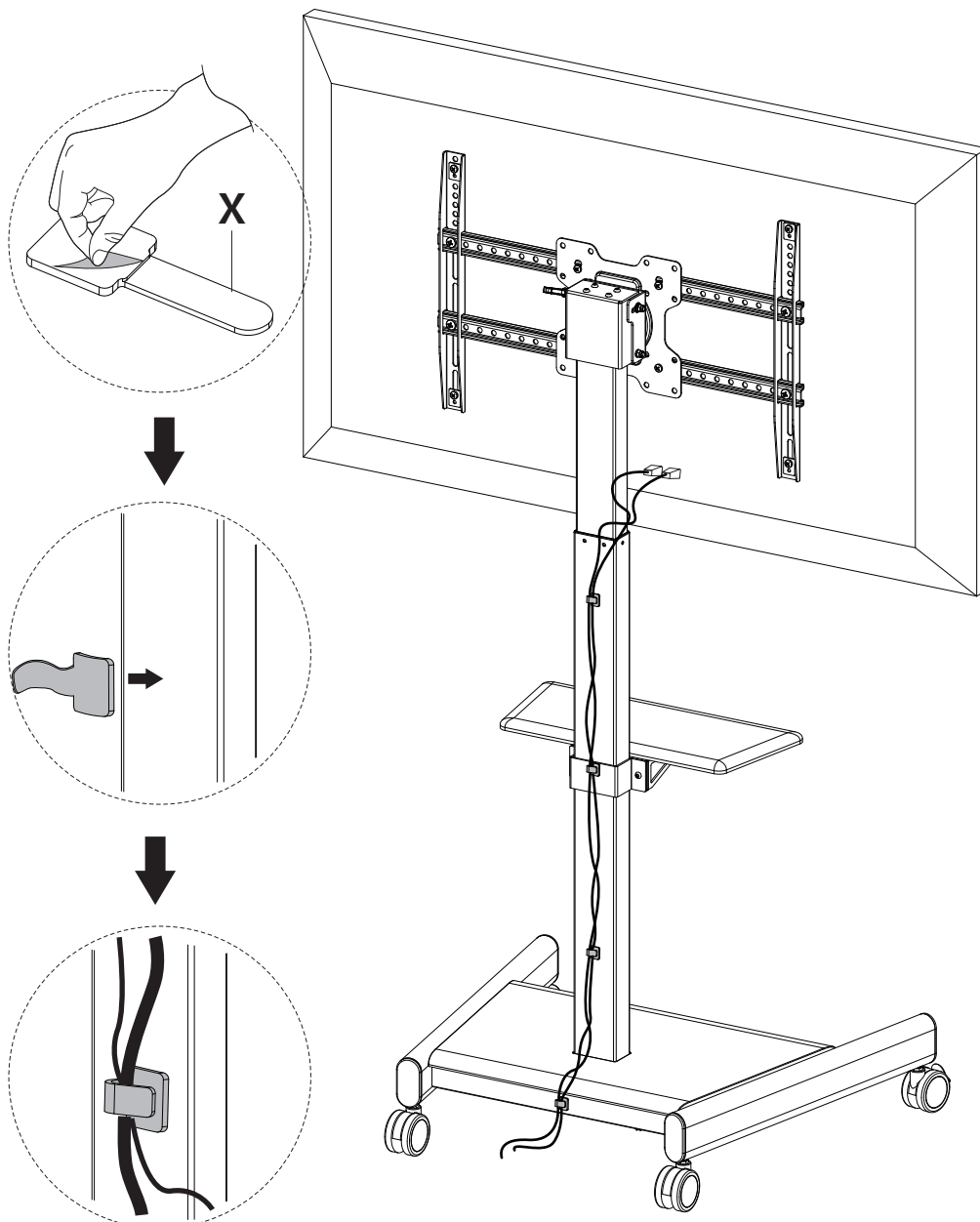
## Step 6. 配線を通す



注意

- ❗ テレビが昇降した時に、配線したケーブルが引きちぎられない様に、ゆとりを持たせて配線してください。
- ❗ 配線の固定作業は、テレビを最も高い位置まで上げ配線したケーブルの動きを確認した上で行ってください。

- 下図を参考に▼コード固定用テープ (X) を支柱の裏側等に貼り、配線をまとめることができます。



## Step 7. テレビの上下位置をリモコンで調節する



**注意**



テレビの上下位置を調節している間はテレビスタンド本体・テレビに触れないでください。

- テレビの上下位置は▼リモコン(Y)の操作で調節できます。
- リモコン用電池は付属しておりません。単4形電池を2本ご用意ください。

### 初めてご使用になる場合

- 初めてご使用になる場合はテレビスタンドとリモコンの接続を行います。
  1. 電源プラグをコンセントから抜き、テレビスタンドの電源が入っていない状態でリモコン右上「SET」ボタンを2秒以上長押しします。リモコン上部の赤いランプが点滅し、探知状態に入ります。
  2. 「SET」ボタンを押したまま電源プラグをコンセントに差すと、テレビスタンド本体からピーッと音が鳴り接続完了です。
  3. 上記の手順を再度行くと接続が解除されます。

### 上下位置調節

- リモコンの「△」「▽」ボタンを押してテレビの上下位置を調節できます。
- ボタンを押している間は移動し続けます。ボタンをはなすと移動が停止します。
- 「HOME」ボタンを短く押すと、自動的に最も低い位置に移動を開始し、途中でもう一度押すと移動を停止します。

### 位置記憶

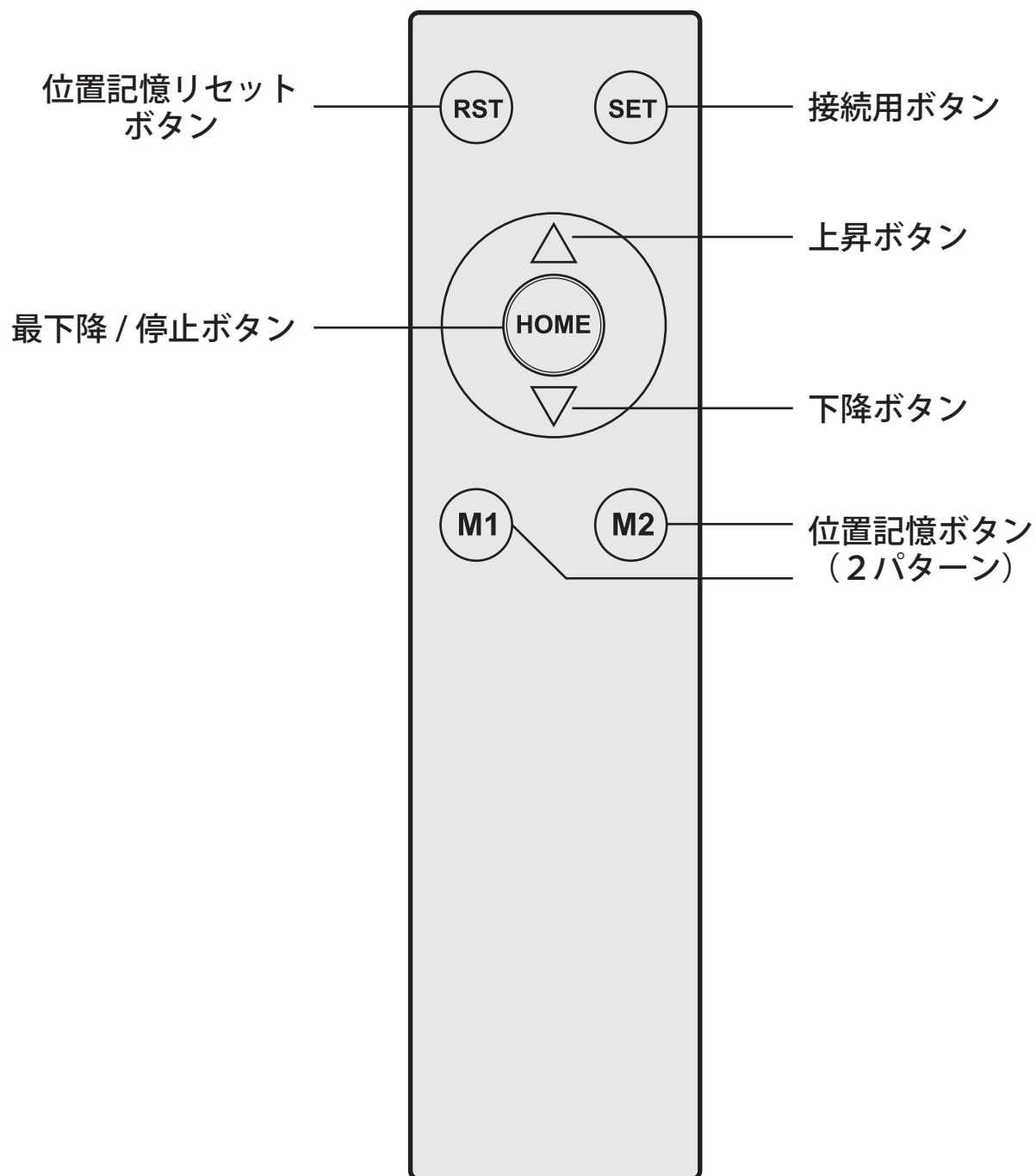
- 上下位置を2パターン(M1/M2)まで記憶させることができます。
  1. 記憶させたい上下位置でリモコンの「M1」または「M2」ボタンを3秒間長押しすると、ピーッと音が鳴り現在の位置が記憶されます。
  2. 「M1」または「M2」ボタンを短く押すと、記憶された位置に自動的に移動します。

### 位置記憶リセット

- 停止している状態で「RST」ボタンを3秒間長押しすると、ピーッと音が鳴り最も低い位置まで下がります。ピーッと音が2回鳴ると、位置記憶リセットが完了します。

### 安全探知機能について

- 連続昇降をするとモーターが熱くなり、過熱防止のため自動的に停止します。電源プラグを抜き差しするか、冷却後(約18分後)に通常使用できます。
- リモコンの電圧が不安定になると、リモコン操作ができなくなります。その場合はリセットを行ってください。「RST」ボタンを3秒間長押しすると、ピーッと音が鳴り最も低い位置まで下がります。ピーッと音が2回鳴ると、リセットが完了します。



## Step 8. 最終確認

- 各取付け部分およびボルトやネジ・ナットの緩み、ガタつきがないかを確認してください。緩みが確認できた際は増し締めをしっかりと行ってください。少しでもガタつきや、違和感があった際には取付けを中止してください。また、この確認作業は定期的に（3ヶ月～半年に1回程度）実施し、問題なく使用できていることを確認してください。
- 経年使用による落下が無いように注意をして使用してください。

## 免責事項

- 本取扱説明書に記載されている警告・注意事項や禁止事項を遵守しない不適切な使用、取り付け不備、お客様による商品の改造などによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失、壁面のネジ穴跡や変色など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

## エモーションズ株式会社

〒214-0032

神奈川県川崎市多摩区柵形 2-1-17 岩本ビル 4F

TEL : 044-455-4728

MAIL : info@emotions.co.jp